

トップメッセージ

環境に配慮した商品と仕組みづくりにおいて
持続可能で豊かな社会の実現に
貢献していきます

マルイチセーリング株式会社
代表取締役社長

小林 一郎



自分のことだけに意識を向けるのではなく、少し自分の周りをみて
「こんなことで世の中の役にたてないか？」または「こうすれば周りの人に喜んでもらえるのでないだろうか？」
と意識を向ける方向をちょっと変えてみる。

小さなことや自分ではたいしたことはないと思うことも毎日1cmでも前に
進むことを継続していく、そんな人を目指し、そんな人の集まる会社にしていきたい。

世の中の流れに危機感を感じ 2015 年に国連が SDGs を提唱し、その後、経済を牽引してきた欧米はじめ世界
では地球温暖化のための対策や法律が具体化され、期限を設けて過去の負の遺産を消すために様々なものが大
きく変わろうとしています。また、私たちの生活においても地球温暖化は、身近な問題として意識が高まって
きています。

私たちは、「自分のところでしかできないものをつくる」という 1950 年の創業以来、開発型メーカーを目指し、
実行してきました。また、1983 年に jipangu シリーズを発表し地域の伝統産業の技術を活かした生活提案を
行い、1988 年には「生活製作所 (Lifestyle Factory)」を企業スローガンとし商品だけではなく、豊かな生
活スタイルの提案も行ってきました。2000 年には、ISO14001 認証取得し、安心・安全・環境配慮を意識し
てきました。

そしていま、社会や地球環境が大きく変化している中、私たちは「MARUICHI SDGs」のもと、環境に配慮し
た商品や仕組みづくりで持続可能で豊かな社会の実現に貢献していきます。

それによって、未来を創る子どもたちによりよい社会と地球環境を残すことができると確信しています。

基本方針とビジョン

マルイチセーリングは、企業理念である
『全社員の物心両面の幸せの追求とともに、心を高めて社会に
貢献する』の実現に向けて、「MARUICHI SDGs 基本方針」
を軸とし、サステナビリティを推進していきます。
また、それによって目指す目標を
「MARUICHI SDGs ビジョン」として明文化します。

MARUICHI SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 基本方針

1. マルイチセーリングの商品やサービスは、自然の恵みを
バックボーンに造られています。その大切な自然の恵み
を次世代に継ぐため、限りある自然を守っていきます。
2. マルイチセーリングは、商品やサービスを通じて、人々
の快適な生活文化の創造を目指しています。そのよりよ
い生活文化が継承されるため、持続可能な社会の形成を
目指していきます。

MARUICHI SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS ビジョン

私たちは「MARUICHI SDGs 基本方針」にもとづき、5つのマ
テリアリティを経営戦略に取り込み、よりよい未来に向けた価値
を創造していきます。
そして、この取組みを通じて国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」
の達成に貢献できるよう挑戦していきます。

重要テーマの抽出

MARUICHI SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS は、数多くの社会的課題のなかから、注力すべきものを重点課題（マテリアリティ）として特定し様々な活動に取り組んでいます。

1. 環境に配慮した商品の開発
2. カーボンニュートラルへの取り組み
3. 廃棄物の削減と抑制
4. 働きやすい職場環境への取り組み
5. 社会貢献への取り組み

大

ステークホルダーからの期待・重要性



マルイチの企業価値に与える重要性

大

主な活動 . 1

MARUICHI SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS の一環としてSBTの認定後
カーボンニュートラルを宣言しCO₂削減に取り組んでいます。

MARUICHI

カーボンニュートラル宣言

MARUICHI Carbon Net Zero Challenge

マルイチセーリングは『MARUICHI SDGS』の一環として、持続可能な社会の実現にむけて、事業活動での温室効果ガス (GHG) 排出量を「2030 年度までに 42% 削減」、そして「2050 年度までに実質ゼロ」とすることを目指し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

◆ マルイチセーリングの脱炭素方針

当社では、国際イニシアティブ「SBT」に加盟し、省エネならびに再エネの取り組みを推進することで、2050年に GHG 排出量のネットゼロを目指します。2021年の SCOPE1・2における CO₂総排出量は299.6t-CO₂で、今後削減に努めていきます。

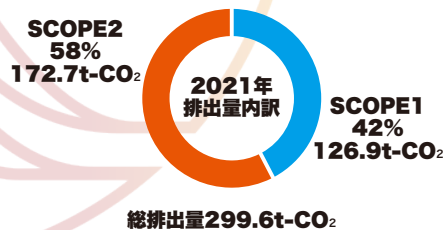
中間目標として、2030年に GHG 排出量を2021年比で42%削減することを掲げ、化石燃料の電化、再エネ電力への切り替え、太陽光発電の自家消費化、EV 車の採用などの具体策を推進していきます。

◆ SCOPE1・2における実現目標

- ・ 2030年12月31日 排出量173.8t-CO₂(▲42%)
- ・ 2050年12月31日 排出量 0-CO₂(▲100%)

◆ SCOPE1・2における実施目標

- ・ 2023年12月31日 排出量271.6t-CO₂
- ・ マルイチセーリング全社員でカーボンニュートラルを理解し促進していきます。



① MARUICHI

2022年12月2日
マルイチセーリング株式会社
代表取締役社長

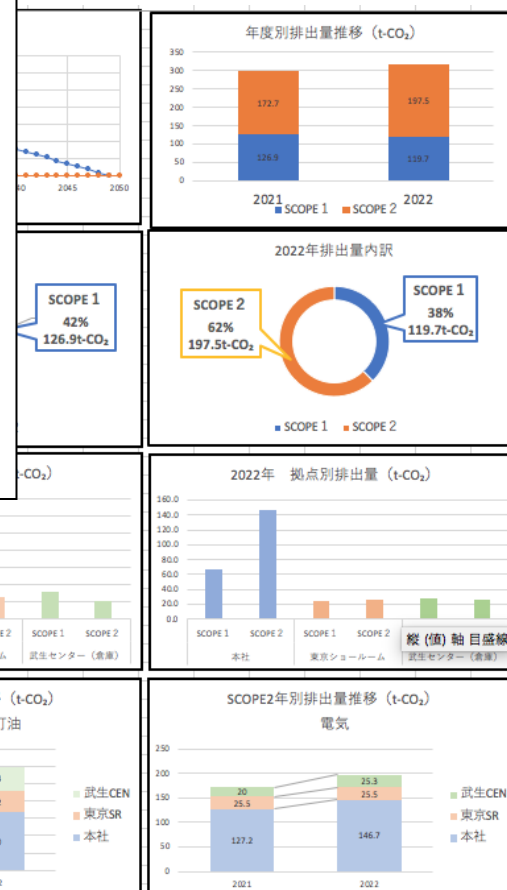
小林 一朗

WE'VE HAD OUR
SCIENCE-BASED TARGET APPROVEDSCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



SBTとは、企業が定めるCO₂削減目標が、パリ協定(2015)で定める水準と整合していることを認証する国際認証で世界基準の目標認定制度です。



主な活動 .2

福井県が創設した官民連携プラットフォームに「ふくい SDGs パートナー」として登録し活動しています。

◆工場見学や職場体験などで学校教育への協力を通じて地域教育の推進に取り組んでいます。



環境に優しい素材や構造、廃棄物の削減などの研究を通じ、商品開発やサービスに活用できるよう活動しています。

◆パームループ（アブラヤシの廃材からできたそざい）や環境に配慮したファブリックの採用

◆様々な地域コミュニティに参加し交流や催しを通じて地域貢献に取り組んでいます。

ボランティアや地域コミュニティへの参画により、社会貢献活動に取り組んでいます。



◆TOYOTA SOCIAL FES 2023 に参加。プラスチックゴミ回収と環境汚染について学びました。

◆ふくいエコキャップ運動に賛同し、ペットボトルのキャップを回収。ワクチンを送るミッションに協力しています。